

令和3年度尾張旭市国民健康保険特別会計予算

討論要旨 川村つよし議員

新型コロナウイルス感染拡大を防ぐため、外出自粛が求められ、受診抑制が起きた結果、国保特別会計の支出傾向は保険給付費の減少を招いているようです。

今後、受診控えによる重篤化を招かないのか懸念もされるようですが、状況としては特別会計の支出が減少し、基金の増加となる決算見通しではないかと思われます。一方、景気動向からは、被保険者の所得減少、生活苦も心配されるところです。

このような背景にもかかわらず、中間所得層に増税の影響が大きい国保税増税を行おうという考え方は、大きな疑問を持っています。

福祉文教委員会では、増税の理由について、愛知県の標準保険税率に近づけていくという、コロナ以前に計画された説明を口にするだけで、国保加入者の生活に配慮しようという考えは少しも感じられませんでした。ただ計画どおり県の示す標準保険税率を目指すということしか、増税の理由はありません。しかも、国保会計の財政状況からは、今保険税を値上げしなくとも問題はないと考えられ、後ほど賛否が採られる第23号議案 国民健康保険税条例の一部改正についても、予算とともに反対の意思を表明し、反対討論といたします。